

# 「平成28年度関西総合物流活性化モデル」の認定結果について

# 「平成28年度関西総合物流活性化モデル」の認定結果について

## 【関西総合物流活性化モデル評価委員会 結果概要】

### ○日時、場所

平成29年2月14日(火)9:30～11:30

(於関西経済連合会会議室(中之島センタービル))

### ○選定委員 <敬称略>

委員長	関西学院大学商学部 教授	伊藤 秀和
委員	国土交通省近畿運輸局 交通環境部 計画調整官	川合 宏和
〃	国土交通省大阪航空局 空港部 関西国際空港・大阪国際空港課長	幸松 和明
〃	国土交通省近畿地方整備局 港湾空港部 計画企画官	酒井 貴司
〃	(公社)関西経済連合会 地域連携部長	神田 彰

### ○結果(認定件数:全4件)

モデル名	事業者	概要
①関西国際空港を活用した物流サービスの構築	日本通運(株)	24時間運用・豊富なアジア路線を持つ関空で、「越境EC貨物の輸出サービス」及び「緊急輸入貨物の24時間運用物流サービス」を構築
②タイ、中国発関西経由SEA&AIRサービス	(株)阪急阪神エクスプレス	タイ、中国から直送で欧米に輸出される商品を海上便で大阪港まで輸送し、関空からの航空便により欧米への再輸出を手配
③姫路インランドコンテナデポ活用による物流効率化	(株)ユニエツクス	兵庫県西部エリア及び中国地方で事業運営を行う輸出入企業向けのコンテナラウンドユースサービス
④食肉販売支援事業「エムカン路線便」「エムカン牧場」	(有)エム・カンパニー	・エムカン路線便＝小型車両で近畿一円39コースに共同配送する食肉に絞り込んだ物流サービス ・エムカン牧場＝畜肉業界のネットワーク(直接荷主130社)を活かした仕入れ、販売・加工のマッチングサービス

### ○認定のポイント

1. 関西の物流促進効果が見込めるか
2. 独自性の高い、あるいは先進的な取組であるか
3. 事業の遂行能力があり、継続性が見込めるか
4. 事業の実施体制が適切か

### ○委員からの主な意見

・規模の小さい企業からも応募があり、関西総合物流活性化モデル認定事業が関西の物流関係企業に浸透してきているということではないか。  
・認定されたモデルについては、認定後のさらなるコスト削減を期待することも必要。また、輸出入分野の拡大につながるよう、国際物流戦略チームがPR面で貢献していけば良いのではないか。

## 【会社概要】

社名 日本通運株式会社 

本社 〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3  
http://www.nittsu.co.jp/

申請者 大阪航空支店  
〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-1-6 日通北浜ビル  
TEL 06-6232-2310 (代表)

設立:1937年10月

## 【モデル概要】

・24時間運用、豊富なアジア路線を持つ関西国際空港を活用した物流サービスを構築

A. 越境EC貨物の輸出サービス(主に中国路線向け)

B. 緊急輸入貨物の24時間運用物流サービス(当面、アジア路線向け)

## 【関西地域の物流促進に寄与する点】

A. 新規サプライヤの市場参入を促進することによるビジネス機会の拡大及び新たな物流の創出が可能

B. 関西国際空港を起点とした西日本の物流を促進することによる物量増加と顧客ニーズを満たすことが可能

## 【事業の独自性や先進性】

・特殊性/緊急性の高い貨物に特化した輸送サービスを提供

A. 関東地区での経験値をもとに行う物流サービス/物流拠点の整備を軸として、西日本における越境EC物流の本拠地を構築

B. 出荷国から一気通貫の物流サービスを提供することで、従来、関東に集約されていた西日本宛の貨物を関西国際空港に集約

## 【導入スケジュール】

計画内容	平成29年度			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
リサーチ・マーケティング	■	■	■	■
モデル設計・企画	■	■	■	■
トライアル実施・検証	■	■	■	■
販売推進	■	■	■	■
運用開始(事業化)	■	■	■	■

## A. 越境EC貨物の輸出サービス



- ① 中国大手EC運営会社との業務提携により蓄積した経験値を活用する
- ② 一貫輸送により物流品質を向上させ、ビジネスの安定化に貢献する
- ③ 顧客の多種多様なニーズに柔軟に対応する
- ④ 関西国際空港を西日本におけるEC貨物の玄関口として確立する

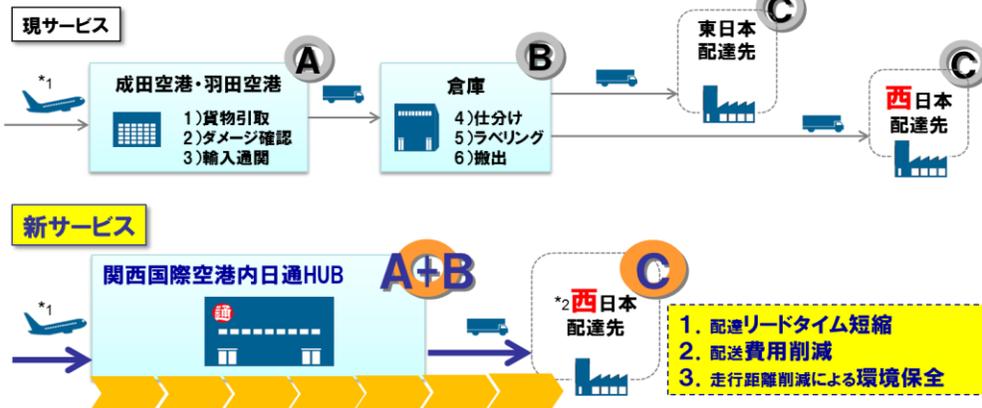
1. 深夜利用によるリードタイム短縮
2. 配送費用削減\*1
3. 走行距離削減による環境保全\*2



\*1 既にこのサービスの開始要望を国内通販大手、外資系通販大手、大手子供服メーカーより受けている  
\*2 主に中国路線をターゲットとする

(当社H.P.より抜粋)

## B. 緊急輸入貨物の24時間運用物流サービス



- ① 西日本配達分はゲートウェイである関西国際空港に集約する
- ② 関西国際空港島内で全ての作業を完結させる
- ③ スピード・安全性・確実性の全てを満たすサービスを同時に実現する

1. 配達リードタイム短縮
  2. 配送費用削減
  3. 走行距離削減による環境保全
- \*1 アジア路線をターゲットとする今後は欧米路線に拡大も視野に入れる  
\*2 現サービスを利用している顧客の西日本分物量は運送状単位で毎月平均40件相当ある他に新規顧客で当サービス利用を複数社の利用を見込む

## 【会社概要】

社名 株式会社阪急阪神エクスプレス  
 本社 〒530-0001  
 大阪府大阪市北区梅田2-5-25  
<http://www.hh-express.com/jp/>  
 申請者 西日本営業本部第一営業部  
 〒601-8127  
 京都市南区上鳥羽北花名町41  
 TEL 075-681-3961 (京都支店)  
 設立 1999年5月



## サービス概要

①

中国・タイ等船足が短い国からコンテナ船若しくはフェリーを利用し、大阪港に輸送。



②

大阪港到着後、一旦コンテナより積卸を行い、トラックに積み替えた上で、関西空港へ保税にて転送。積戻し申告後最終目的空港へ。



## 【モデル概要】

・タイ、中国から直送で欧米に輸出される商品を、海上便にて大阪港まで輸送し、関西国際空港まで保税転送にて横もちの上、関西国際空港から航空便にて欧米に再輸出を手配するサービス

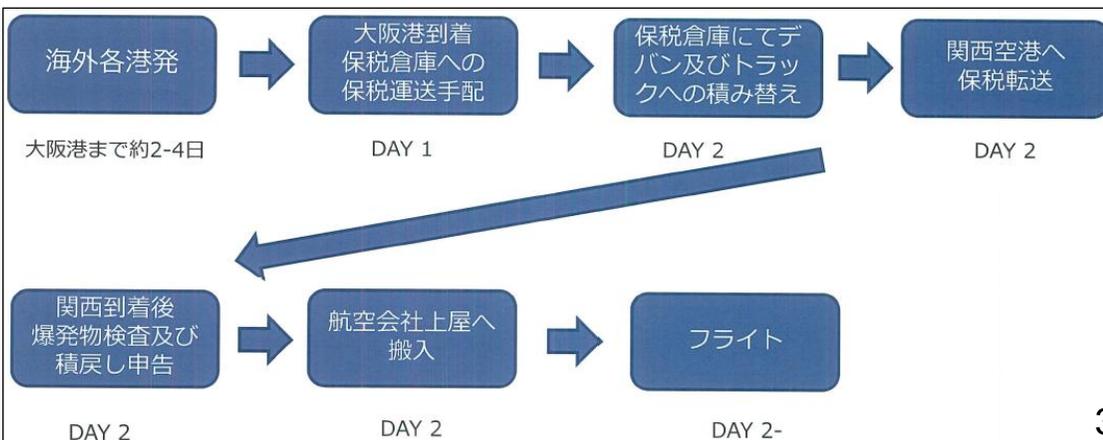
## 【関西地域の物流促進に寄与する点】

・繁忙期にスペースの確保が困難な、タイ、中国発欧米向けの出荷について、大阪港／関西国際空港を経由させることにより、新たなサービス販売ルートを確認するとともに、大阪港／関西国際空港の取扱い物量の増加に貢献

## 【事業の独自性や先進性】

・タイ、中国発欧米向けの長距離路線において、航空／海上の中間サービスとして荷主がとり得る選択肢の幅を広げることが可能

## フロー及び概算リードタイム



## 実施体制・スケジュール(2017年度)

施策の実施項目	担当部署	実施項目の具体的活動計画											
		第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
SEAAIRのニーズ開拓	西日本営業本部営業部署 海外現地法人												
サービス内容の調整	西日本営業本部営業部署 海外現地法人 港寓作業、国内保税輸送												
サービスの価格詳細設定	西日本営業本部営業部署												
顧客へのサービス販売(セールス期間)	西日本営業本部営業部署 海外現地法人												
SEAAIRのサービス実施	西日本営業本部営業部署 海外現地法人												



## 【会社概要】

社名 有限会社エム・カンパニー  
 本社 〒559-0026  
 大阪府大阪市住之江区平林北2-7-128  
 TEL 06-6684-6000 (代表)  
<http://mc-genki.co.jp/>  
 設立 1993年1月



## 【モデル概要】

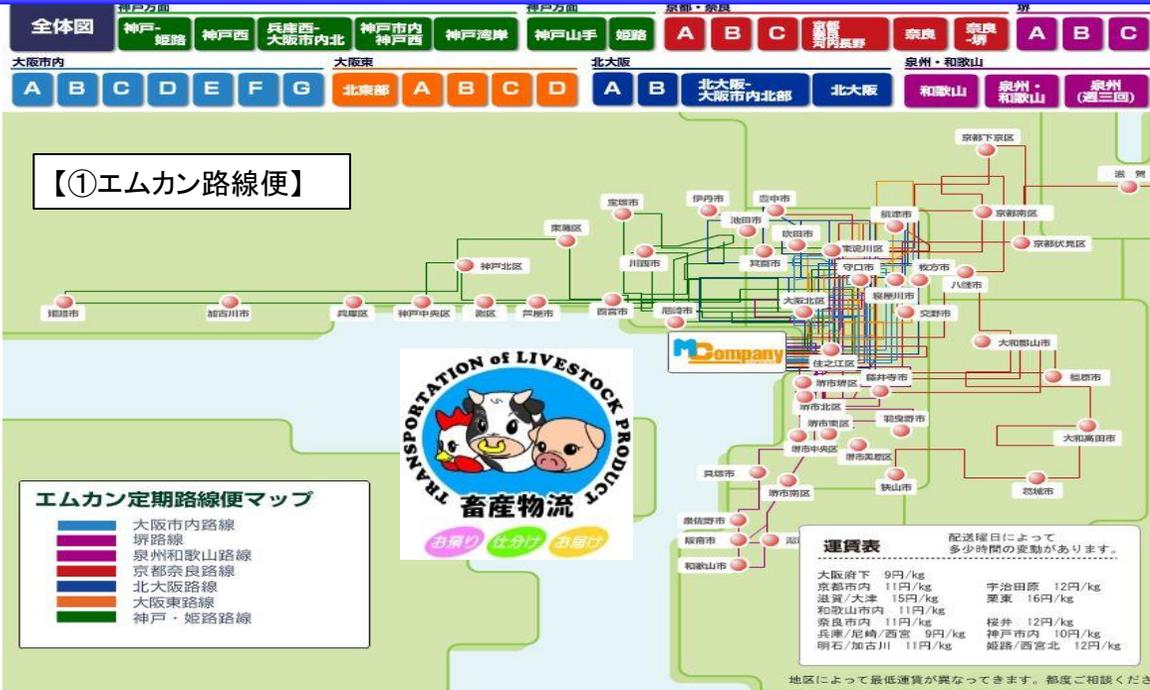
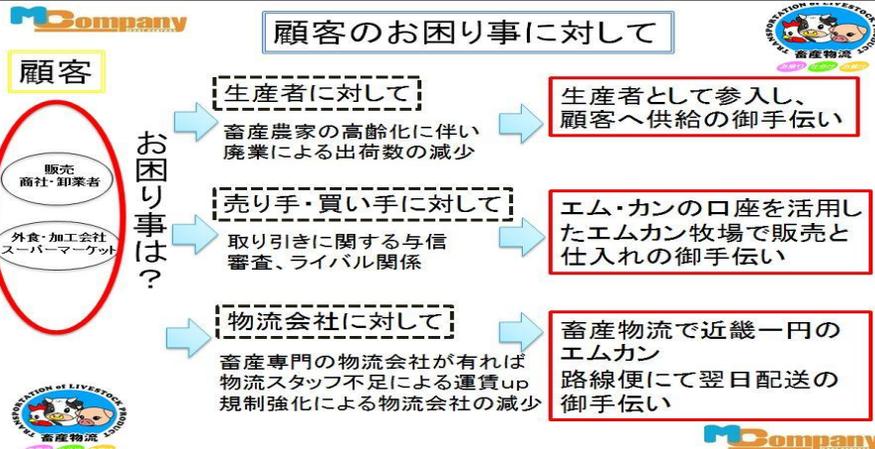
- ・畜産に絞込んだ物流サービスを小型車両で近畿一円39コースの共同配送を提供(①エムカン路線便)
- ・畜産業界のネットワーク(直接荷主130社)を活かした仕入れ、販売、加工のマッチング等を提供(②エムカン牧場)

## 【関西地域の物流促進に寄与する点】

- ・近畿一円39コースのエムカン路線便(路線バスのように決められたエリア／時間帯に届けることが可能)を活用することで、小ロット配送や交通が不便な街中等への翌日配送が可能であり、食肉の円滑な流通に寄与

## 【事業の独自性や先進性】

- ・食肉に絞込んだ物流サービスを提供することにより、品質管理や荷扱い等に高いサービスを提供することが可能
- ・顧客のお困り事を直接荷主(卸業者、加工会社等)130社とマッチングさせるサービスを提供することも可能



## 【②エムカン牧場】

